

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立南六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・玉止め玉結び、波縫い等の技術を、概ね習得させることができた。
- ・自分の生活を見直し、学習したことを家庭生活や学校生活で生かそうとする児童が増えてきた。
- ・学びポケットのスクールタクトを活用した振り返りなど、ICTの活用を推進できた。

(2) 課題

- ・家庭での経験等により技能の個人差が大きい。
- ・作品製作では完成の見通しをもてない児童が多い。

2 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士での教え合いや、ICT 機器の活用などによって、実技技能は高まっている。一方で、返し縫いやかがり縫いができない児童がいる。 ・ミシンの上糸や下糸のかけ方は素早くできない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の課題や学習計画を明確にするワークシートを活用して、自分なりの工夫をして学習に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技分野では、すすんで学習に取り組む児童が多い。 ・作品の完成に時間がかかったり、用語を覚えられなかったりすることで、苦手意識を感じている児童もいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・手順の表示や見本を掲示したり、ICTを活用したりして、作業の進め方が分かるようにする。 ・ICTを使った教材を用いて、知識の習得を図る。 ・手縫いやミシン縫いは2年間を通して繰り返し学習し、技能を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相互で教え合ったり、作品のよさを見付け合ったりする活動を取り入れる。 ・家庭生活へ生かせるように工夫の観点を示し、家庭生活への工夫について書かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りを徹底し、家庭で実践させ、友達とよさを見付け合ったり、保護者からの感想をもらったりすることで次の授業展開に生かす。 ・ものづくり活動を繰り返し行うことで、生活に生かせるものを作る喜びを感じさせる。